



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

年初から大波乱に見舞われた世界の金融資本市場ですが、1か月を経過しても株式市場は値動きの激しい相場展開が続いています。

株式市場下落のきっかけは、中国経済の失速懸念からでしたが、その後原油価格が1バレル20ドル台にまで下落して、月の後半は原油価格の上下に世界の株価が一喜一憂するように、価格水準の納まり処が定まらぬ体です。

原油をはじめとしたエネルギー価格は、どうやら暫く低落傾向が継続しそうで、資源を収入源として来た産業や資源輸出国にはダイレクトにその影響が負の要因として見出されますが、資源の買い手となるあらゆる産業にとっては間違いなくコスト削減効果が絶大な慈雨であり、先進国の生活者においてもガソリン価格の低下などを通じて、実質的な減税効果に等しい恩恵として、今後実体経済のプラス面を顕在化させてくることでしょう。

一方資源輸出に経済が依存して来た中東諸国やブラジル・ロシア・南ア・インドネシアといった新興諸国にとっては、経済活動の低迷のみならず財政悪化も避けられず、苦境が更に深刻になる、2016年の世界経済は資源に依拠する国家構造によって、経済活動が二極化を強める年となりそうです。

世界全体に株価水準は年初から1割以上下がっていますが、想定外のサプライズが発生したわけではなく、今は金融市場全体に先進国間の金融政策が引き締めと緩和とで交錯する複雑化の状況に戸惑うと共に、エネルギー価格動向がグローバル経済にもたらす影響度合いを見定めきれず、悲観が先行していますが、やがて人為的なきっかけによるモメンタム（勢い）のベクトル転換点が訪れて、各々の経済実態に鑑みた価格水準へと収斂するはずで。

「セゾン号」はどっしり長期投資マネーに支えられた巡行を続けていて、年初から多くの入金を日々いただく中で、安くなった価格を十分に謳歌して悠然と仕込んでおります。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

セゾン資産形成の達人ファンド

1月の市場動向

株式：【中国不安が高まるなかで原油価格が下落し、リスクを避ける動きが強まると共に景気の先行きへの懸念が高まり下落】

中国の株式市場が大きく下落すると共に中国元が下落し中国からの資本流出への警戒が高まるなかで、原油価格が一段と下落したほか、地政学的リスクが高まってリスクを避ける動きが強まり、さらには世界的に景気の先行きに対する懸念が高まって下落しました。

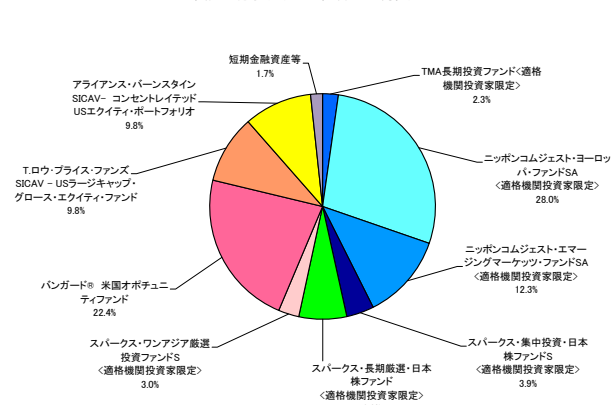
為替：【リスクを避ける動きが強まるなかで資源国通貨や新興国通貨が下落し、主要国通貨が上昇】

資源価格や株式市場が下落しリスクを避ける動きが強まるなかで、資源国通貨や新興国通貨が下落し、ドル、ユーロ、円が上昇しました。円は月末に部分的なマイナス金利制度の導入が決定されたことを受けて下落に転じ、対ドル、対ユーロでは円安となりました。

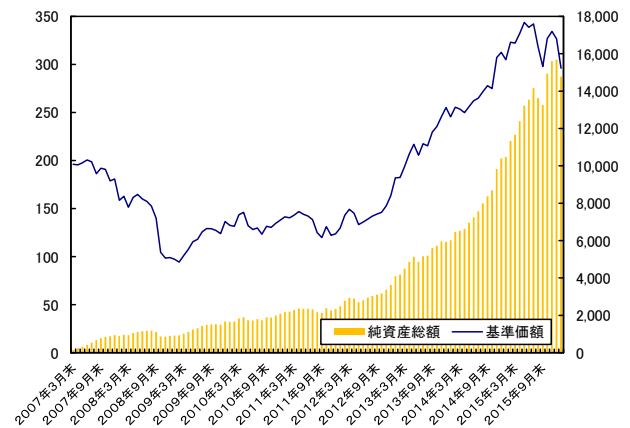
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年1月29日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
15,227円	287.2億円	+52.27%	-9.37%	-13.49%	-2.88%

資産配分状況（2016年1月29日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



1月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、バンガード米国オポチュニティファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、コムジェストヨーロッパパフアンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月とほぼ変わらず、月末時点で1.7%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

1月の世界の株式市場は大きく下落し、ファンドの基準価額も大きく下落しました。

株式市場は時折、大きな変動に見舞われることがありますが、このような時こそ、投資方針を再確認しながら行動することが大事だと考えます。

典型的な例を挙げると、短い期間で他人に自分が買った値段よりも高い値段で売ることが目的とした投資であれば、相場の急落に直面した時に、急いで行動を起こすことも合理的な行動と言えます。一方、当ファンドの投資方針は、投資先の企業が生み出す価値を重視し、長期的な視点で割安と考えられる価格で購入することであり、このような状況はより良い投資機会を生み出すことから、変わらない姿勢で投資を継続することが合理的な行動であると認識しております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）



セゾン投信